

## §90 文末の副詞句

## 課題文

- (1) その列車はいつも人でいっぱいだ。  
 (2) 昔は同じ町内に怖い大人が必ずいて、子供が人として恥ずかしいことをすると、いつも本気になって説教してくれたものである。

## 文法研究

## 🔪 「人でいっぱい」の訳は？

- (1) の「人でいっぱい」を直訳すると次の (a) (b) のようになる。  
 (a) The train is filled **with people**. / The train is full **of people**. (×)  
 (b) The train is crowded **with people**. (△)  
 (c) The train is crowded. (○)

確かに、be filled with ～やbe full of ～は「～でいっぱいである」の意味だが、be filled with peopleの組み合わせは違和感を覚える。一つはbe filled with ～やbe full of ～の目的語は人間ではなく物でなければおかしいということだ。ならば、be crowded with ～を使えばいいのではないかと考えるわけだが、crowdedはそもそも「人でいっぱいだ」の意味であるから、わざわざwith peopleを付ける必要はない。敢えて(b)のようにwith peopleを付けると、「猿ではなく人間でいっぱいだった」のような意味になりかねない。それは、文末の副詞句は通常、対比を暗示するからである。仮に、with peopleを付けるとしたら、「故郷へ帰る人々でいっぱいだった」のように、修飾語を伴う場合だ。

- (d) The train was crowded **with people who are going back to their hometown**. (○)

## 🔪 「人として恥ずかしいことをする」の訳

同様に、本問(2)の「人として恥ずかしいことをする」を直訳すると、「人として」の部分が〈文末の副詞句〉となるので、対比を暗示することになってしまう。「猿としてではなく、人として恥ずかしいことをする」といったような滑稽な意味になってしまうのだ。

- (e) do something wrong **as a human being** (×) ⇨ not as a monkey  
 よって、英語では「人として」の部分は訳さない方がよい。  
 (f) do something wrong (○)

ここでの教訓は、日本語と英語は常に1対1で対応するわけではなく、日本語に書いてあることをすべて英語にすればよいものではないということである。

## 英訳例

- (1-A) The train is always crowded.  
 (1-B) There are always too many passengers on the train.  
 (2-A) There always used to be at least one scary adult in the neighborhood. Whenever kids did bad things, that adult would give them a good scolding.  
 (2-B) In the past, there was always at least one grown-up in every neighborhood who the kids would be scared of. If the kids did something wrong, these adults would give them a good telling-off.

## 表現研究

- 昔は～がいた (⇒ §38)  
**there used to be ～ / there was ～ in the past / there was once ～**が可。
- 怖い大人  
**scary**「怖い」/ **strict**「厳しい」が可。**be scared of** ～で「～がこわい」(⇒ p.82)。(2-B)は「子供たちがこわがる大人」としている。
- 同じ町内に  
 in the same neighborhoodは不可。the sameを使うなら「何と同じか」を示す必要がある。
- 恥ずかしいことをする  
**do something wrong / do bad things / behave badly**が可。do something shamefulは「世間に顔向けできないようなことをする」となって大げさ。
- 説教する  
**scold**は**scold sb for sth**「〈事〉で〈人〉をしかる」の語法で使うのがふつうなので、対象が人だけのときは**give sb a good scolding** [telling-off《英》]の方が適切。**scold sb severely**「〈人〉を厳しくしかる」なら可。
- ～してくれたものである  
 主観的、回顧的に〈過去の習慣〉を表す**would**が使える(⇒ §38)。used to ～も可だが、第1文でこれを使った場合は、重複回避のためwouldにする方が適切。